

野村小学校地域懇談会ニュース

「第5号」

平成23年8月23日発行

今後の野村小学校のあり方等について、5回目の地域懇談会が開催されました。その概要と地域懇談会としての「一定の結論」について、学区内にお住まいの皆様にお知らせします。

- 【日時】 平成23年7月15日（金） 19:00～20:45
【場所】 野村コミュニティ・センター 1階ホール
【次第】
1 報告 (1)指定変更許可区域の設定時期及び学区変更について
2 協議 (1)地域コミュニティについて
(2)今後に向けた一定の方向性について

野村小学校地域懇談会は、平成21年7月の懇談会準備会を経て設置され、約2年間にわたって協議を重ねてきました。これまでの懇談会では、「一定規模確保の必要性」について「確かな学力の育成」「個に応じた指導の充実」「実現すべき教育環境」という視点からの説明や統合校での経験談なども交えながら、子どもたちのより良い教育環境について考えてきました。同時に学校を拠点とした地域コミュニティについても議論を進めてきました。

今回の懇談会では、これらの経過を踏まえ野村小学校における課題を整理し、今後に向けた一定の方向性として「小規模校ゆえに、子どもたちは応用力を育むための経験の場が少ないなど一定の課題はあるものの、地域にはコミュニティの核となる小学校が必要であり、地域の拠り所である野村小学校は存続すべき」との結論をまとめ、協議を終了することとしました。

なお、これまでの協議経過及び結果については7月29日の定例教育委員会において報告がなされ、地域懇談会で出された結論を真摯に受け止める旨の話がありました。



【当日の議事概要】

1 報告

(1)指定変更許可区域の設定時期及び学区変更について

前回の地域懇談会で質問のありました野村小学校に関連する指定変更許可区域や学区の変更について、教育委員会から報告がありました。



委員の意見（抜粋）

- ・平成12年4月から野村小学区に隣接する七北田小学区の一部が将監西小に通える指定変更許可区域に指定されたという話だが、野村小にも通えるということにはならなかったのか。
→当時の七北田小学区町内会の総意で、野村小ではなく将監西小に通うことができる区域に指定したいという申請が出されています。
(教育委員会)

2 協議

(1)地域コミュニティについて

前回の懇談会では、主に保護者会から選出された委員に意見を述べてもらいました。今回は、町内会等から選出された委員を中心に地域コミュニティの観点から統合について意見交換をしました。

委員の意見（抜粋）

- ・子どもがいて地域があるのが基本。特に野村地区では、町内の各種団体の出発点が小学校になっている。野村小は地域のシンボルだ。
- ・野村小をなくせば地域が完全に分かれてしまう。地域コミュニティをなくすのは簡単だが、広げるとか作るのは大変だ。
- ・自分たちの子どもや孫のことだから教育が良くなるのが一番いいが、これまで文化や歴史を育んできた地域の人間関係が壊れてしまう。



(2)今後に向けた一定の方向性について

これまでの5回にわたる地域懇談会の協議を通して、野村地域として野村小の存続・統合についての今後に向けた一定の方向性を下記のとおりまとめました。

ポイント1

次代を担う子供たちの確かな成長



小規模校ゆえに…

- ①多様な人間関係・経験を積む機会が限定
- ②応用力を育む経験の場が少ない



近隣校との交流学習で一定程度は補える

ポイント2

コミュニティ豊かな魅力ある地域づくり

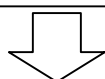


学校がなくなると…

- ①学校を中心とした地域活動が壊れる
- ②地域の絆の崩壊につながるおそれがある



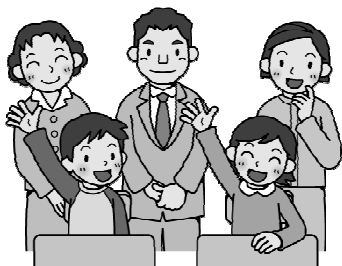
地域の拠り所として野村小学校が必要



【結論：野村小学校は存続すべき】

ただし、①小規模校ゆえの課題を補うため、他校との交流学習を実施する。

②保護者や地域から野村地区の児童の教育環境について再度議論の必要性が求められた場合には、改めて協議を行う。



今回で地域懇談会での協議は終了しましたが、子どもの教育環境の改善に関してどのようなことでも結構ですので、ご意見がありましたらぜひお寄せください。

事務局：仙台市教育委員会 学校規模適正化推進室
電話：214-8432 FAX：264-4428
Eメール：kyo019031@city.sendai.jp

取組み内容はホームページでもご覧いただけます

仙台市教育委員会 一定規模確保

検索